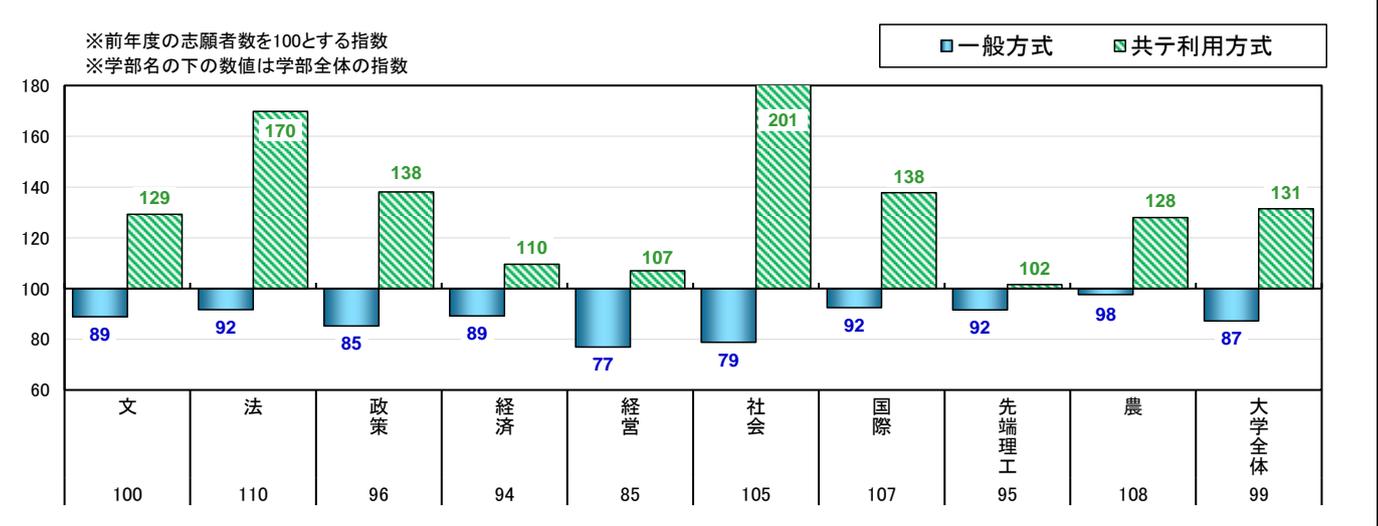


龍谷大：大学全体では微減、共テは方式拡大で2年連続大幅増加

一般：-5,275人 共テ：+4,776人



主な入試変更点	選抜方法：全学部…〈共テ・中期(英語外部試験利用)〉、〈共テ・後期(英語外部試験利用)〉を新規実施 国際(グローバルスタディーズ)…〈一般・前期(国際学部独自)〉、〈共テ併用(リスニング)〉、〈共テ・後期(外国語1教科)〉を新規実施 募集人員：国際(グローバルスタディーズ)…〈一般・前期〉24人→27人、〈一般・中期〉20人→16人、〈一般・後期〉…7人→2人 先端理工(数理・情報科学)…〈一般・前期〉23人→31人 (知能情報メディア)…〈一般・前期〉23人→31人 (電子情報通信)…〈一般・前期〉23人→31人 (機械工学・ロボティクス)…〈一般・前期〉25人→33人 (応用化学)…〈一般・前期〉23人→31人 (環境生態工学)…〈一般・前期〉23人→31人 農(植物生命科学)…〈一般・前期〉32人→27人、〈一般・中期〉17人→12人、 〈共テ・前期〉9人→11人、〈共テ・中期〉4人→5人、〈共テ・後期〉2人→3人
----------------	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、499人(99)の微減。学部別では、9学部中5学部が増加。法(110)、農(108)は増加、国際(107)、社会(105)はやや増加、文(100)は前年度並。一方で、(経営)(85)は大幅減少。方式別では、一般方式は5,275人(87)の増加で3年連続減少、全学部が減少。一方で、共通テスト利用方式は英語外部試験利用可能日程の拡大で、4,776人(131)の大幅増加で全学部が増加。過去2年間の実施日程・方式の拡大の効果で2年連続大幅増加。

- 〈一般方式〉
- 文(89)は、減少。学科・専攻別では、11学科・専攻中8学科・専攻が減少。特に、(歴史/東洋史学)(60)は大幅減少で前年度40%の大幅増加の反動、(哲/教育学)(70)も大幅減少で、2019年度以降前年度の反動による増減が継続。(歴史/東洋史学)(81)。(臨床心理)(81)も大幅減少。一方で、(歴史/文化遺産学)(130)は大幅増加で2年連続減少の反動、(英語英米文)(112)は増加で2年連続大幅減少の反動。
 - 法(92)は、3年ぶりに減少。方式別では、全方式が減少。
 - 政策(85)は、大幅減少で3年連続減少。方式別では、共通テストの平均点ダウンの影響による追加出願により、〈後期高得点〉(185)、〈後期スタンダード〉(166)は激増。その他の方式は、いずれも大幅減少。
 - 経済(89)は、減少で2年連続減少。志願者数は6年ぶりに5,000人を下回った。方式別では、共通テストの平均点ダウンの影響による追加出願により、〈後期高得点〉(170)は激増、〈後期スタンダード〉(127)は大幅増加、いずれも2年連続大幅増加。
 - 経営(77)は、大幅減少で2018年度以降前年度の反動による増減が継続。方式別では、全ての方式で減少。
 - 社会(79)は、前年度増加の反動で大幅減少し、志願者数は4,000人を下回った。学科別では、(現代福祉)(101)は3年連続減少の反動はなく微増に留まった。(コミュニティマネジメント)(71)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(社会)(72)も大幅減少で前年度の反動による増減が継続、志願者数が2,000人を下回ったのは6年ぶり。
 - 国際(92)は、コロナ禍の影響で系統への人気低下により、4年連続減少。学科別では、(グローバルスタディーズ)(140)は、留学必須でコロナ禍の影響が大きく3年連続大幅減少だったが、留学に相当するカリキュラムの設置や、2022年度前期から学科独自の海外留学の再開を決定したことで、4年ぶり大幅増加。一方で、(国際文化)(79)は大幅減少、志願者数は2,000人を下回った。
 - 先端理工(92)は、2020年度に改組後旧理工との比較を含めて3年連続減少。募集人員は増加(募集人員の前年度対比指数120)で、志願倍率は15.0倍→11.5倍へダウン。課程別では、(知能情報メディア)(119)は大幅増加、(電子情報通信)(112)は増加でいずれも前年度大幅減少の反動。その他の4学科はいずれも大幅減少で、2年連続減少。
 - 農(98)は、微減で2年連続減少。学科別では、唯一増加の(植物生命科学)(134)は、前年度40%以上の大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(食料農業システム)(80)は大幅減少、(食品栄養)(94)、(資源生物科学)(97)はやや減少で、3学科はいずれも2年連続減少。

- 〈共通テスト利用方式〉
- 文(129)は、前年度激増の反動はなく大幅増加。学科・専攻別では、全学科・専攻で増加。特に、(歴史/文化遺産学)(226)は倍増以上、(歴史/仏教史学)(164)は激増。
 - 法(170)は、激増で2年連続大幅増加。志願者数は2,000人を上回った。方式別では、全ての方式で大幅増加。

- 政策(138)は、前年度大幅減少の反動も加わり大幅増加。方式別では、〈共テ・前期3科目〉(93)のやや減少、〈共テ・前期4科目〉(102)の前年度並を除いた方式は大幅増加。
- 経済(110)は、2年連続増加。方式別では、〈共テ・中期2科目〉(192)、〈共テ・前期2科目〉(182)の激増が目立った。
- 経営(107)は、やや増加で2年連続増加。方式別では、英語外部試験の利用が可能になった〈共テ・中期2科目〉(237)の激増が目立った。
- 社会(201)は、倍増で2年連続大幅増加。志願者数は2,500人を上回った。学科別では、3学科全て激増。
- 国際(138)は、2年連続大幅増加。コロナ禍の影響で系統への人気は低下だが、国際のみの新規実施方式を除いても(132)の大幅増加。学科別では、(グローバルスタディーズ)(153)、(国際文化)(131)でいずれも大幅増加。
- 先端理工(102)は、微増で旧理工から引き続き5年連続増加。課程別では、(電子情報通信)(109)、(知能情報メディア)(108)は増加、(機械工学・ロボティクス)(104)はやや増加。一方で、(応用化学)(90)は減少、(数理・情報科学)(93)はやや減少で、いずれも前年度の反動。
- 農(128)は、大幅増加で4年連続増加。志願者数は1,600人を上回った。学科別では、(食料農業システム)(178)は激増。(植物生命科学)(142)は大幅増加。